

令和３年度 あだちっ子歯科健診※実施結果報告書

あだちっ子歯科健診は、年少児（４歳）～年長児（６歳）が在籍する区内すべての教育・保育施設で、「統一基準の歯科健診」「ていねいな受診勧奨」「結果の集計・分析・フィードバック」をセットに実施している。※ あだちっ子歯科健診の概要はP11へ

令和３年度の実施結果について、以下のとおり報告する。

令和３年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書・目次

1 令和３年度施設参加率と受診率	P 1
2 令和３年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】	P 3
（１）乳歯にむし歯がある子どもの割合は前年度より減少	
（２）未処置のむし歯がある子どもの割合は全年齢で減少	
（３）施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合（R2、R3 年度比較）	
（４）４か年の受診状況及び施設種別・むし歯り患率の変化【子どもの健診結果の突合分析】	
3 令和４年度の主な取り組み	P 6
4 糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー【中間見直しによる改定版】進捗状況	P 6
5 資料編	P 7

1 令和３年度施設参加率と受診率

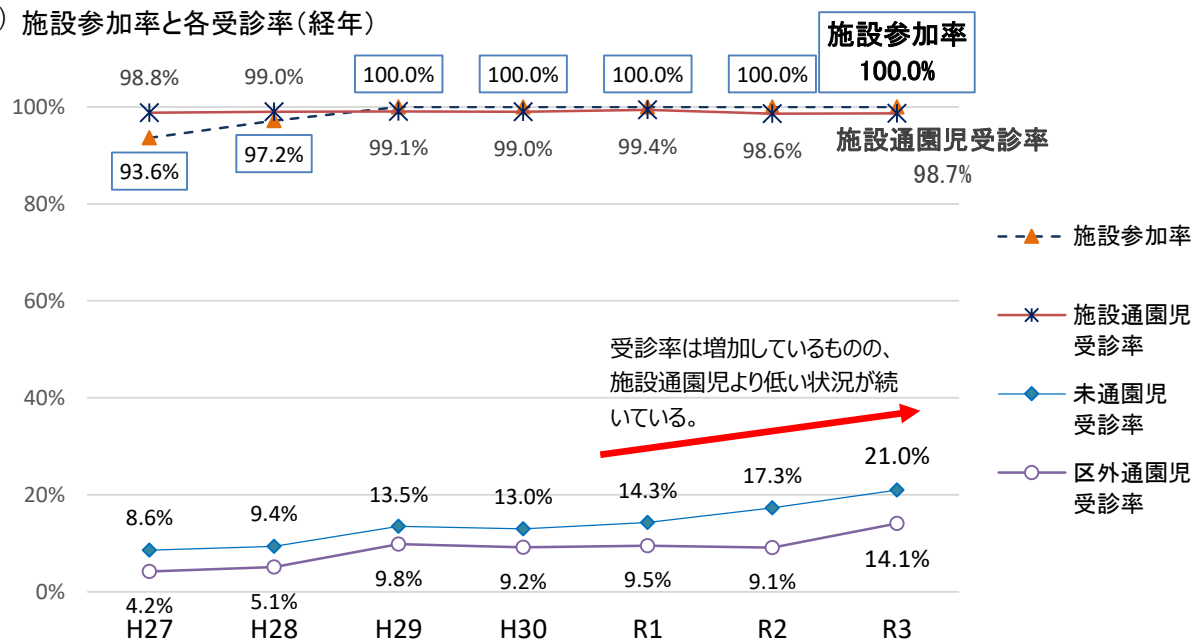
（１）教育・保育施設の参加率は、５年連続１００％（図１）

全２２１施設（前年度と同数）で実施し、１４，８５９名が受診した。

（２）歯科健診受診率は、施設通園児が微増、未通園児等は増加している（図１）

施設通園児 98.7％（前年度比 0.1 ポイント増）、区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）のうち、未通園児 21.0％（前年度比 3.7 ポイント増）、区外通園児 14.1％（前年度比 5.0 ポイント増）と、いずれも受診率が増加した。

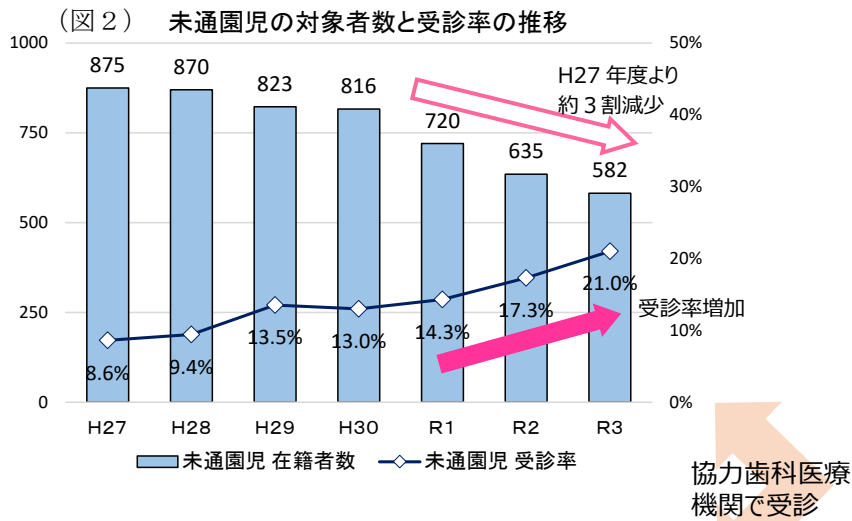
（図１）施設参加率と各受診率（経年）



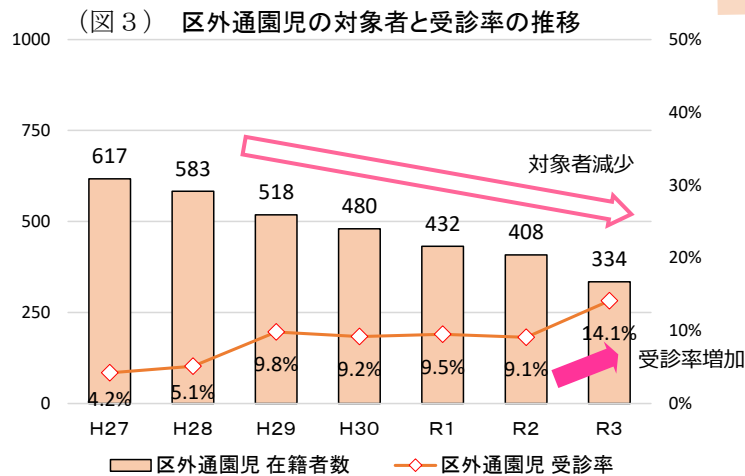
(3) 未通園児等における対象者数および受診率【7年間の推移】

ア 対象者数は減少し、受診率は増加している

未通園児は、対象者が約3割減少、受診率は12.4ポイント増加した(図2)。また、区外通園児は、対象者数がおおよそ半減し、受診率は9.9ポイント増加している(図3)。

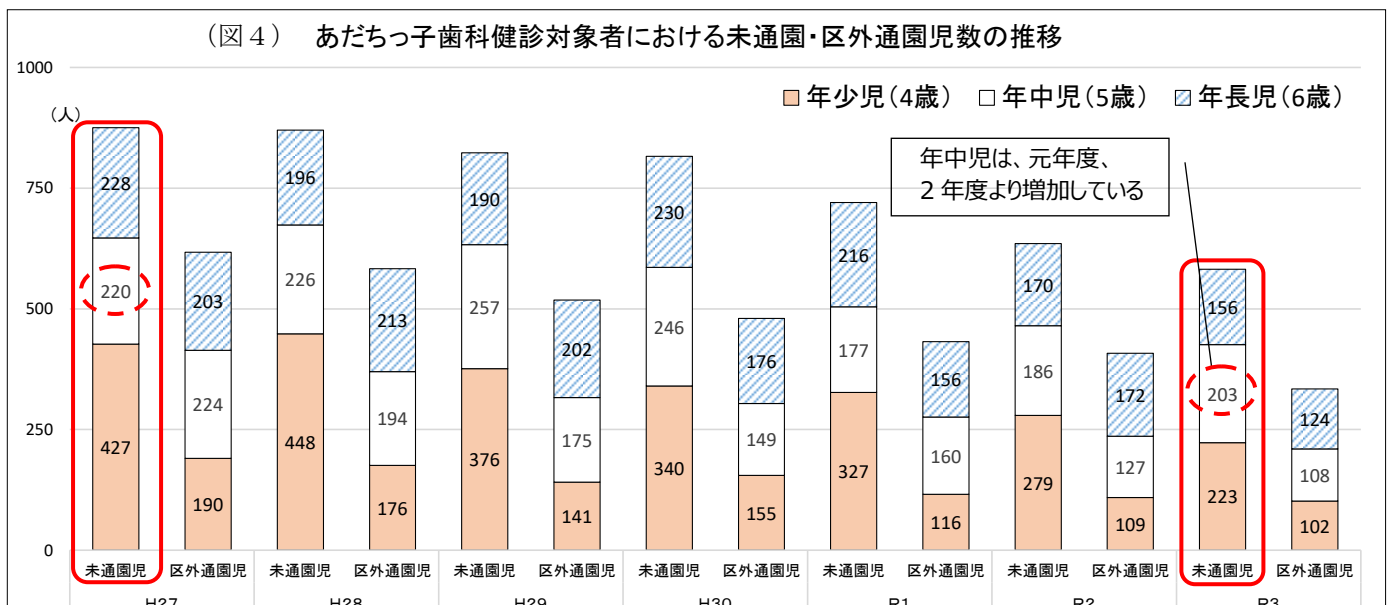


健診を希望しない方は、アンケートハガキを返信
(詳細は P8 参照)



イ 年齢別割合の推移 (図4)

未通園児におけるH27年度とR3年度を比較すると、年長児は約3割減、年中児は微減に止まる中、年少児は半減している。

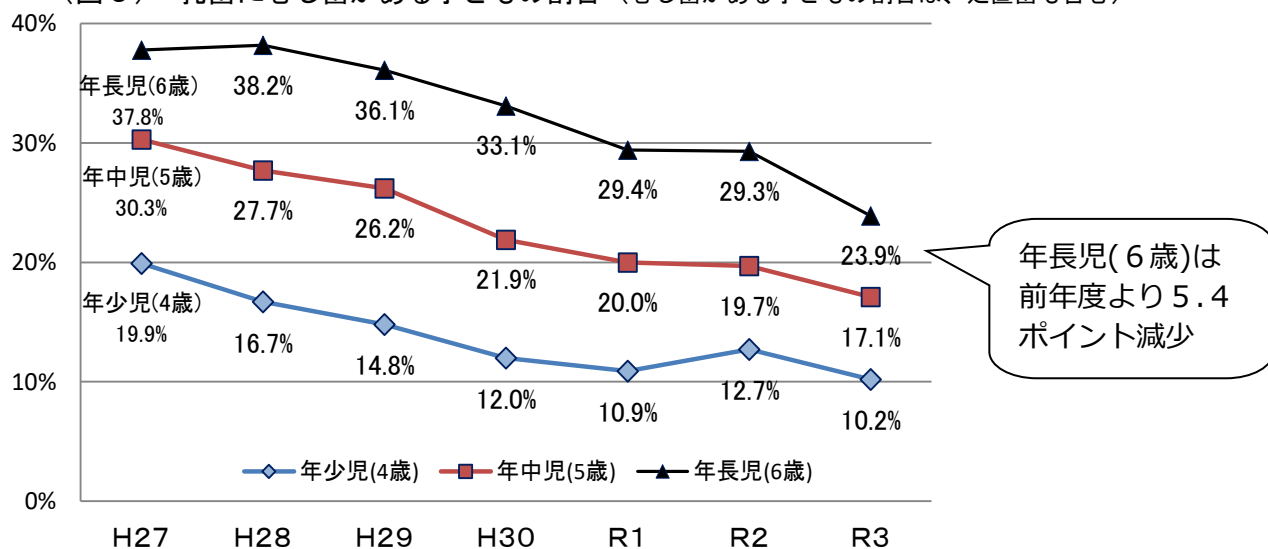


2 令和3年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】

(1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合は、前年度より減少

事業開始当初(H27年度)からみると、年長児(6歳)は13.9ポイント、年中児(5歳)は13.2ポイント、年少児(4歳)は9.7ポイントと大きく減少した。

(図5) 乳歯にむし歯がある子どもの割合(むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む)



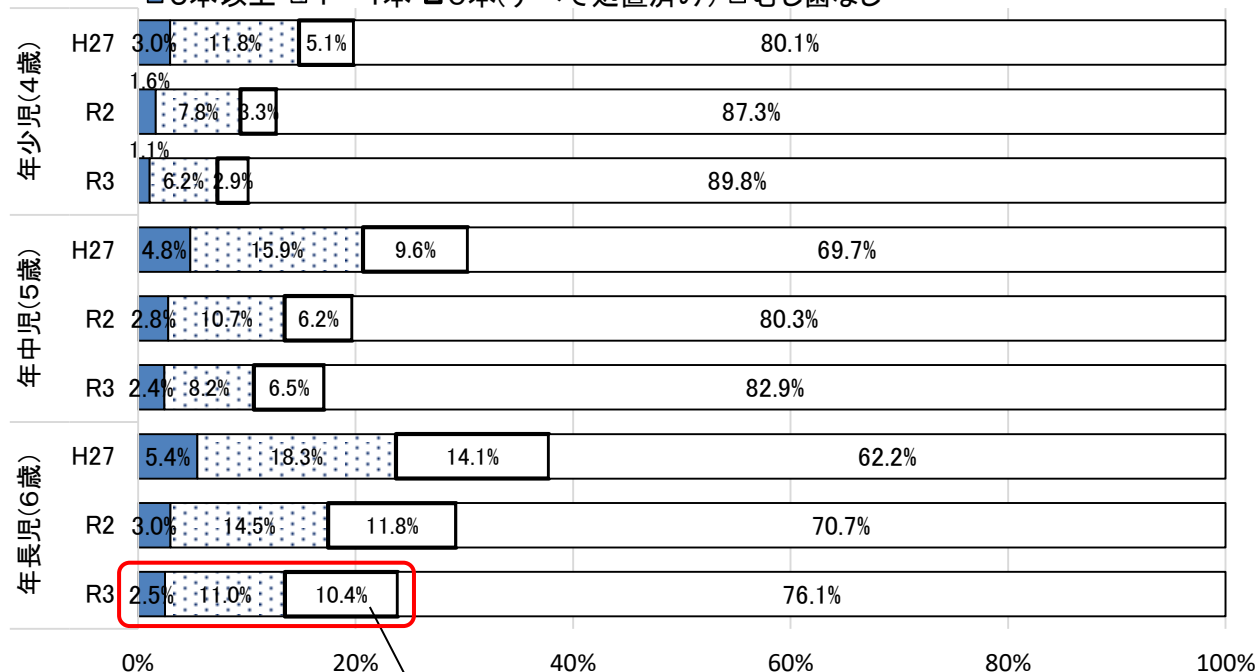
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため秋に歯科健診を実施

(2) 未処置のむし歯がある子どもの割合は、全年齢で減少

5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合は、全年齢で前年度より減少し、平成27年度からみると半減している。

(図6) 未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R2・R3年度比)

■5本以上 □1~4本 □0本(すべて処置済み) □むし歯なし



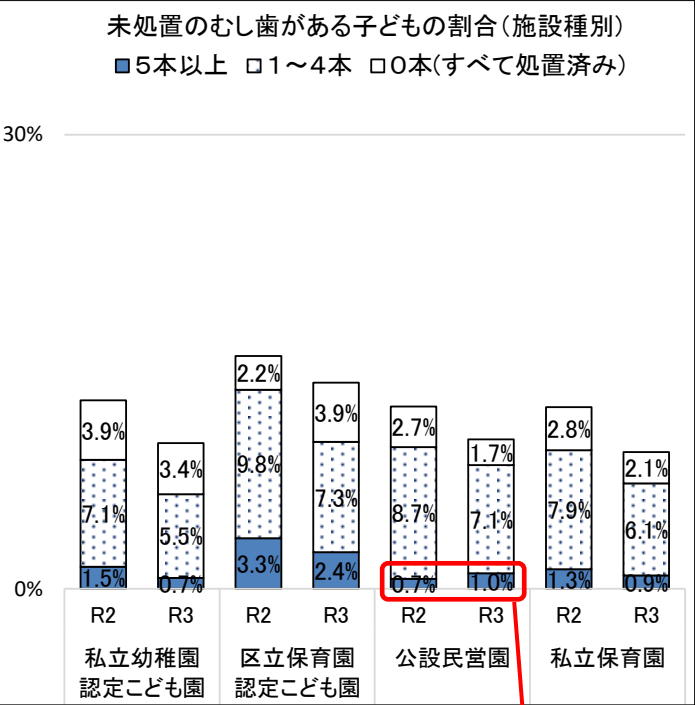
R3年度むし歯がある年長児23.9%のうち、「未処置0本(すべて治療済み)」の割合は10.4%と半数に迫っている

(3) 施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合 (R2、R3 年度比較)

「未処置のむし歯が0本(すべて処置済み)」の割合は、年中児・年長児と年齢が上がるにつれて増加している。

年長児で、依然として5本以上未処置のむし歯を有する子どもは、「歯科医療機関の受診(治療)」につがっていない」「治療しても新たなむし歯ができてしまう」等、家庭支援が必要な可能性があるため、より丁寧に対応することが求められる。

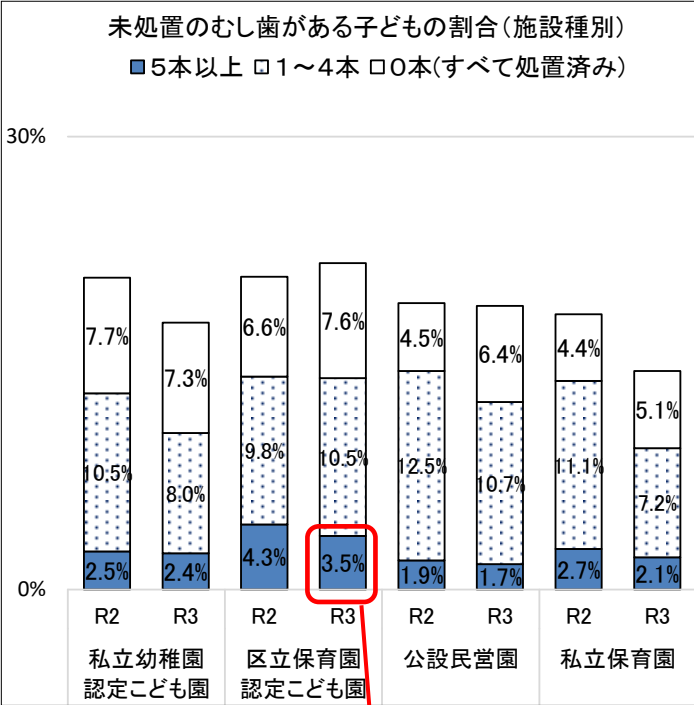
(図7) 年少児 (4 歳)



5 本以上未処置のむし歯がある子の割合 (R2・R3)

公設民営園は、
0.3 ポイント増加

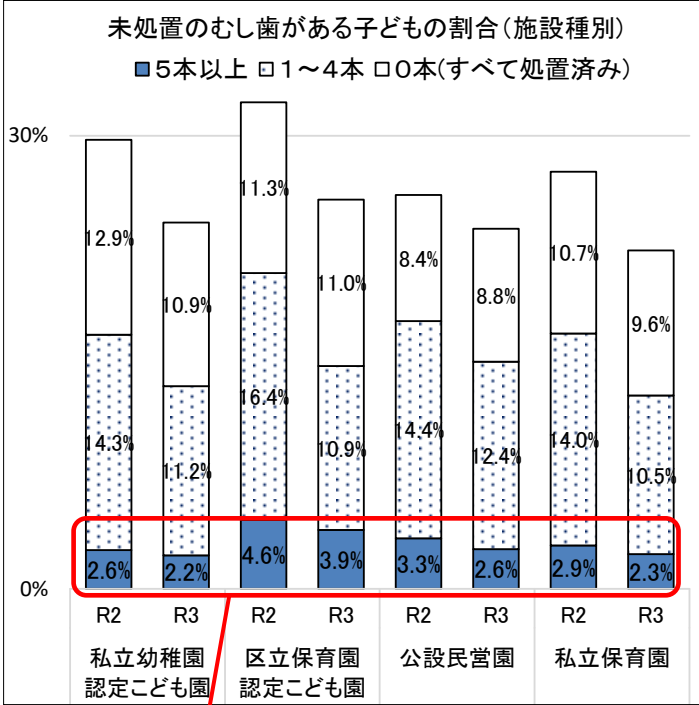
(図8) 年中児 (5 歳)



5 本以上未処置のむし歯がある子の割合 (R2・R3)

すべての施設種別で減少
区立園が 3.5% で最も多い

(図9) 年長児 (6 歳)



5 本以上未処置のむし歯がある子の割合 (R2・R3)

年長児の 2～4 % は 5 本以上の未処置のむし歯を有している

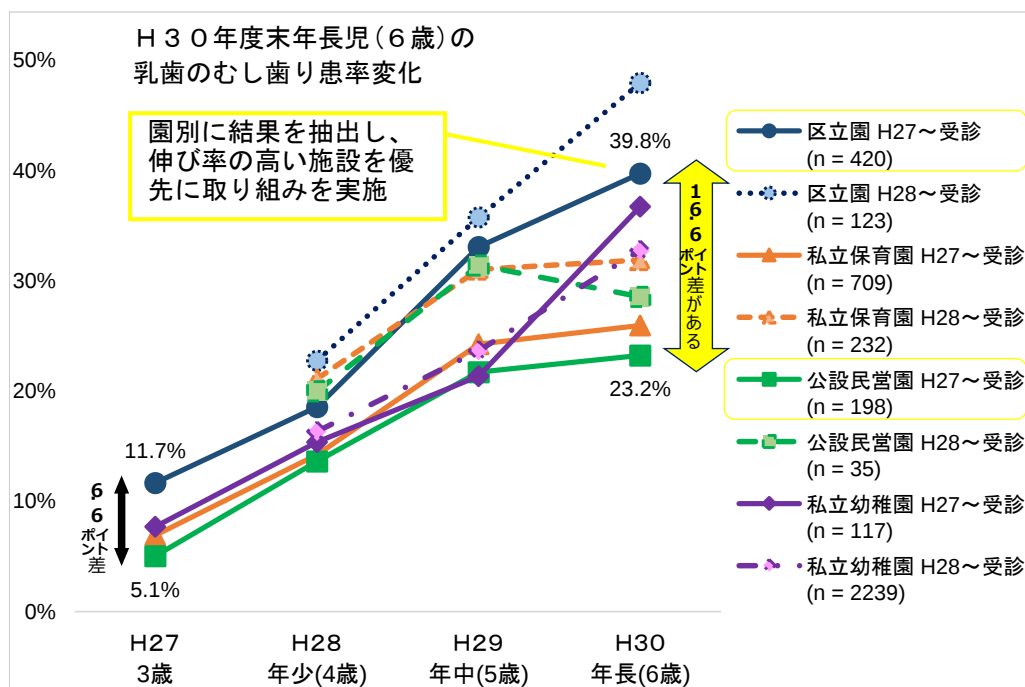
(4) 4か年(3歳から6歳)の受診状況及び施設種別・むし歯り患率の変化【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】

「同一施設で4か年連続受診した子ども」と「年少児(4歳)から受診した子ども」の歯科健診結果を突合・分析し、施設種別にむし歯り患率の変化をみた(図10、図11)。

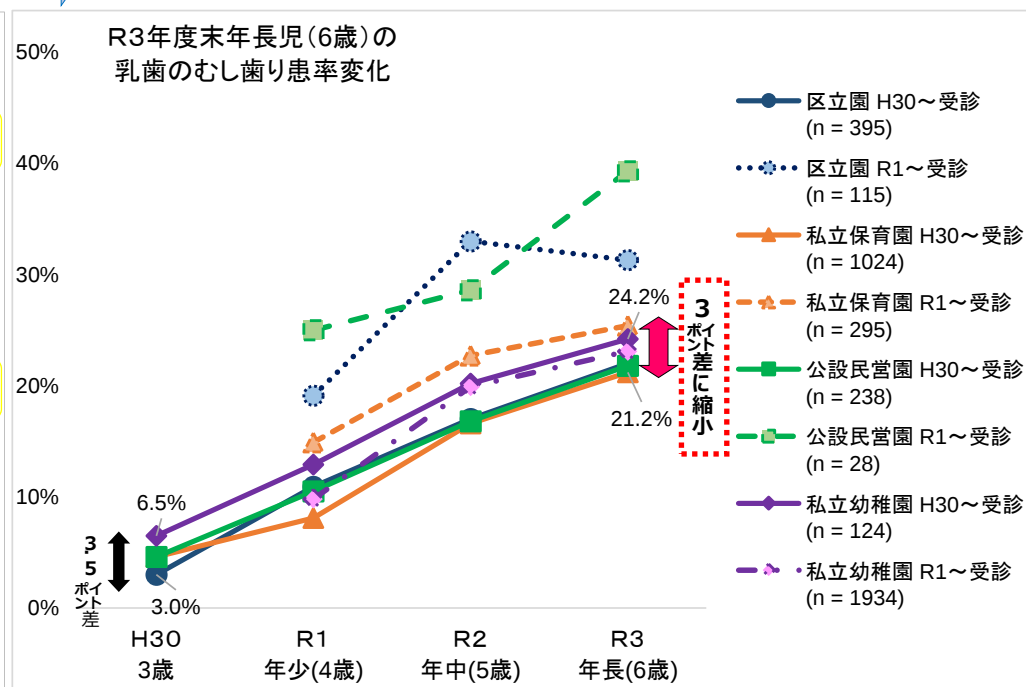
平成30年度末年長児(6歳)は、施設種別によるむし歯り患率の差が開いていたため、伸び率が高い施設を中心に、「仕上げみがき」や「歯によいおやつの習慣づくり」等、低年齢から取り組みを実施した。

令和3年度末年長児(6歳)は、施設種別による差が縮小し、全体のむし歯り患率も低下している。

(図10) H30年度末年長児(6歳)における施設種別むし歯り患率



(図11) R3年度末年長児(6歳)における施設種別むし歯り患率



※1 むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む。

※2 H27～H30年度の受診者のうち、H30年度末年長児(6歳)の子どものデータを突合して分析した。

※1 むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む。

※2 H30～R3年度の受診者のうち、R3年度末年長児(6歳)の子どものデータを突合して分析した。

3 令和4年度の主な取り組み【子ども家庭部、衛生部が連携して取り組む】

(1) 歯科健診データを活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

ア 区立保育園・こども園への支援を強化【子ども家庭部】

令和3年度歯科健診データを基に、未処置のむし歯がある子どもの割合が高い施設を優先に、「受診(治療勧奨)」や「保護者・職員による仕上げみがき」、ならびに「歯によいおやつ」等の啓発を強化し、子どものむし歯予防を推進する。

イ 「10日間チャレンジカード」で家庭の歯みがき習慣づくりを推進【衛生部】

保健センター歯科衛生士による6歳臼歯健康教室(年長児版)は、コロナ禍で歯みがき練習が困難なため、『園で覚えた歯みがきを、おうちで練習!』と題して「歯みがきチャレンジカード」に取り組み、歯みがき+保護者の仕上げみがきの定着を図る。

(2) 未通園児の健診受診の推進【子ども家庭部】

未通園児のうち、認可外保育施設(3園)通園児に施設内健診を実施することで、確実な受診に繋げていく。また、引き続き、区サービス利用者に対する関係機関からの積極的な働きかけや、前年度のデータ分析から抽出した未受診者を対象に、ハガキ等での受診勧奨を実施する。

(3) 「乳歯への対策」が永久歯に及ぼす影響ならびに施設の取り組みを分析

各歯科健診データから、乳歯対策が健全な永久歯の育成に及ぼす影響等を分析し、未就学期におけるさらなる効果的な展開を検討する。

4 「糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー【中間見直しによる改定版】」進捗状況

あだちっ子歯科健診に関連する実績値及び目標値は、下記のとおりである。むし歯がない子どもの割合(年長児)は5.4ポイント増加し、目標値を大きく上回っている。

(表1)

		28年度実績 中間実績値	2年度実績 (2020年度)	令和3年度実績 (2021年度)	R4年度 目標値
① あだちっ子 歯科健診(4 ~6歳児)の 受診率を向上 させる	私立幼稚園・認定こども園	98.7%	98.6%	98.4%	100%
	区立保育園・認定こども園	99.1%	98.5%	98.9%	100%
	公設民営園	99.0%	98.4%	99.2%	100%
	私立保育園	99.7%	98.9%	99.1%	100%
	認証保育所	98.5%	97.8%	100.0%	100%
	未通園児等	7.7%	14.1%	18.4%	15%
② 受診(治療) 報告書提出率	私立幼稚園・認定こども園	49%	61.4%	62.5%	60%
	区立保育園・認定こども園	62%	74.0%	70.3%	75%
	公設民営園	61%	81.8%	78.9%	75%
	私立保育園	68%	77.7%	77.2%	75%
	認証保育所	70%	81.8%	77.5%	75%
	未通園児等	50%	87.2%	58.7%	60%
③ むし歯がない子ども の割合	年長児	61.8%	70.7%	76.1%	70%
	小学1年生	59.8%	66.9%	67.3%	65%
④ 5本以上未処置のむし歯がある子 どもの割合(年長児)		5.1%	3.0%	2.5%	3%

－資料編－

1 令和3年度あだちっ子歯科健診の実施結果

（1）参加状況および実施時期

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により9月～11月に実施したが、令和3年度は例年通り5月～7月に実施することができた。区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）へは、個別に通知を発送している。

（表2）

	施設数	参加数	参加率 (R2年度)	実施時期	備考
私立幼稚園 認定こども園	51	51	100% (100%)	令和3年5月～7月	
区立保育園 認定こども園	31	31	100% (100%)		
公設民営園	15	15	100% (100%)		
私立保育園	111	111	100% (100%)		
認証保育所	13	13	100% (100%)		年少児以上が在籍する施設
未通園児等	R3.9.1を基準日とし対象者を抽出			令和3年9月～11月	個別通知による歯科健診の勧奨

（2）受診状況【各施設からの集計報告による実績値】

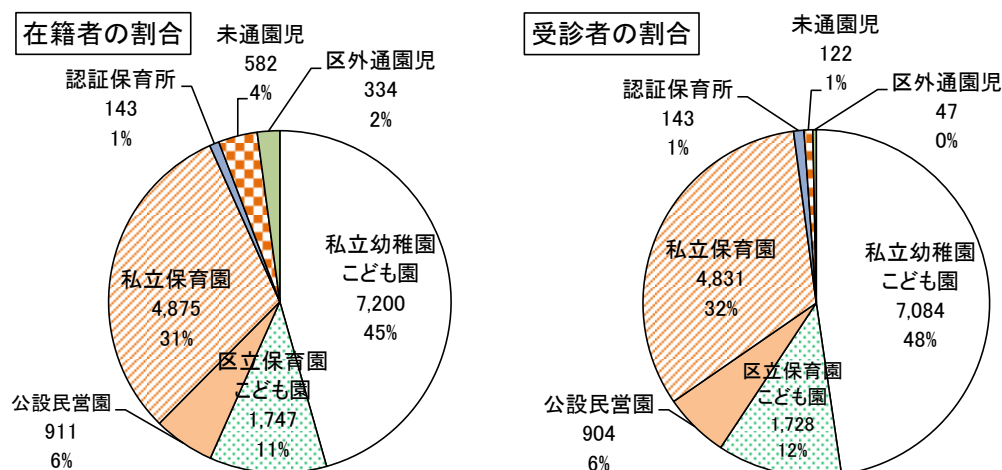
（表3）

※在籍者は、区外在住者を含む。未通園児等の在籍者は、対象者数を記載。

		年少児（4歳）		年中児（5歳）		年長児（6歳）		合計（人数）		
		在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (R2年度)	受診者 (R2年度)	受診率 (R2年度)
私立幼稚園 認定こども園		2,170	2,130	2,408	2,365	2,622	2,589	7,200 (7,806)	7,084 (7,695)	98.4% (98.6%)
区立保育園 認定こども園		545	541	574	569	628	618	1,747 (1,828)	1,728 (1,800)	98.9% (98.5%)
公設民営保育園		295	294	305	303	311	307	911 (931)	904 (916)	99.2% (98.4%)
私立保育園		1,712	1,699	1,573	1,558	1,590	1,574	4,875 (4,619)	4,831 (4,568)	99.1% (98.9%)
認証保育所		65	65	38	38	40	40	143 (136)	143 (133)	100.0% (97.8%)
未通 園児 等	未通園児	223	54	203	35	156	33	582 (635)	122 (110)	21.0% (17.3%)
	区外通園児	102	13	108	19	124	15	334 (408)	47 (37)	14.1% (9.1%)
合計 (R2年度)		5,112 (5,272)	4,796 (4,873)	5,209 (5,517)	4,887 (5,159)	5,471 (5,574)	5,176 (5,227)	15,792 (16,363)	14,859 (15,259)	
受診率 (R2年度)		93.8% (92.4%)		93.8% (93.5%)		94.6% (93.8%)		94.1% (93.3%)		

受診者の割合は、私立幼稚園が48%と最も多く、次いで私立保育園が32%と多くなっている。

（図12）在籍者、受診者の割合



（3）未通園児等の未受診理由

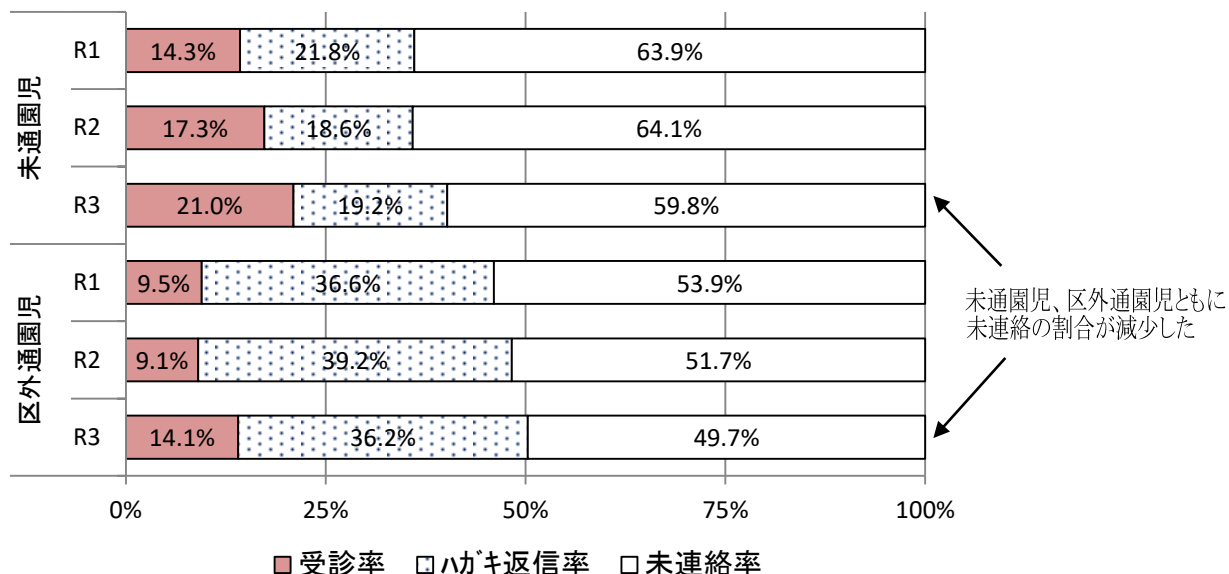
歯科健診の個別通知にアンケートハガキを同封し、健診を希望しない理由等を調査している。令和3年度は、未通園児の19.2%、区外通園児の36.2%から返信があった。

希望しない理由（複数回答可）は、「歯科医院に通院中または定期チェックを受けている」「通っている施設で受けた」の順に多くなっている。

（表4）

	対象者 (R2 年度)	歯科健診受診		未受診			
		受診者 (R2 年度)	受診率 (R2 年度)	希望しないハガキ		未連絡	
				返信数 (R2 年度)	返信率 (R2 年度)	人数 (R2 年度)	割合 (R2 年度)
未通園児	582 (635)	122 (110)	21.0% (17.3%)	112 (118)	19.2% (18.6%)	348 (407)	59.8% (64.1%)
区外通園児	334 (408)	47 (37)	14.1% (9.1%)	121 (160)	36.2% (39.2%)	166 (211)	49.7% (51.7%)
合計	916 (1,043)	169 (147)	18.4% (14.1%)	233 (278)	25.4% (26.7%)	514 (618)	56.1% (59.3%)

（図13）歯科健診を希望しない割合（ハガキ返信率）



（４）「足立区保健衛生システム」登録数

受診者のうち、区内在住児の結果を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。システム登録者数は１４、１２８名で、全受診者の９５．１％であった。

（表５） ※受診者には区外在住児もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

	年少児（４歳）		年中児（５歳）		年長児（６歳）		システム登録人数合計	
	受診者 (R2 年度)	登録者 (R2 年度)	受診者 (R2 年度)	登録者 (R2 年度)	受診者 (R2 年度)	登録者 (R2 年度)	受診者 (R2 年度)	登録者 (R2 年度)
人数	4,796 (4,873)	4,575 (4,606)	4,887 (5,159)	4,633 (4,896)	5,176 (5,227)	4,920 (4,981)	14,859 (15,259)	14,128 (14,483)
登録率	95.4% (94.5%)		94.8% (94.9%)		95.1% (95.3%)		95.1% (94.9%)	

（５）歯科健診分析結果（足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果）

ア 乳歯にむし歯がある子どもの割合（年齢別）

令和３年度の結果、乳歯にむし歯がある子どもの割合は、全年齢で減少した。

（表６） むし歯がある子どもの割合

	年少児（４歳）			年中児（５歳）			年長児（６歳）		
	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率
平成２７年度	4,829	959	19.9%	4,856	1,473	30.3%	5,014	1,894	37.8%
平成２８年度	4,925	823	16.7%	5,086	1,408	27.7%	4,983	1,903	38.2%
平成２９年度	4,868	719	14.8%	5,058	1,324	26.2%	5,134	1,854	36.1%
平成３０年度	4,945	591	12.0%	4,926	1,080	21.9%	5,057	1,672	33.1%
令和元年度	4,922	536	10.9%	5,004	1,001	20.0%	4,939	1,453	29.4%
令和２年度	4,606	587	12.7%	4,896	965	19.7%	4,981	1,457	29.3%
令和３年度	4,575	465	10.2%	4,633	794	17.1%	4,920	1,175	23.9%

イ 乳歯にむし歯がある子どもの割合（施設種類別）

施設間の差は、年少児が４．６ポイント、年中児７．１ポイント、年長児３．４ポイントとなっている。※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

（表７）

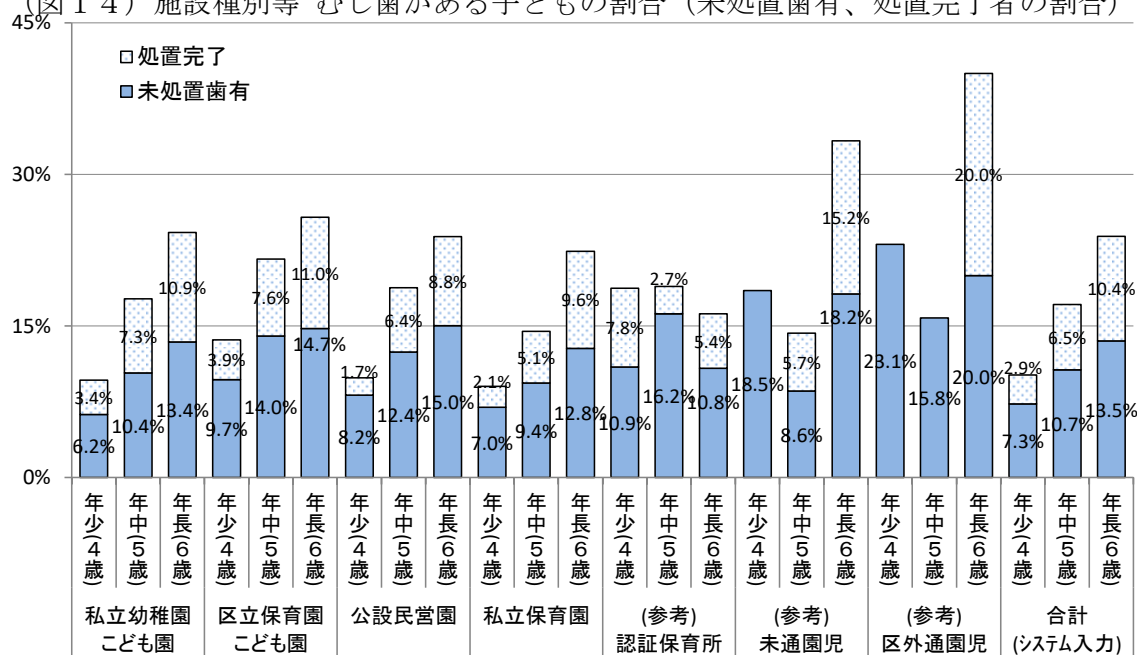
	年少児（４歳）			年中児（５歳）			年長児（６歳）		
	受診者	むし歯有	有病率 (R2 年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R2 年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R2 年度)
私立幼稚園 認定こども園	1,921	185	9.6% (12.4%)	2,132	377	17.7% (20.7%)	2,341	568	24.3% (29.7%)
区立保育園 認定こども園	536	73	13.6% (15.4%)	564	122	21.6% (20.7%)	617	159	25.8% (32.2%)
公設民営保育園	294	29	9.9% (12.0%)	298	56	18.8% (19.0%)	306	73	23.9% (26.1%)
私立保育園	1,693	153	9.0% (12.0%)	1,548	224	14.5% (18.2%)	1,571	352	22.4% (27.6%)
(参考)認証保育所	64	12	18.8% (12.8%)	37	7	18.9% (16.2%)	37	6	16.2% (35.7%)
(参考)未通園児	54	10	18.5% (27.3%)	35	5	14.3% (15.2%)	33	11	33.3% (33.3%)
(参考)区外通園児	13	3	23.1% (7.7%)	19	3	15.8% (18.2%)	15	6	40.0% (7.7%)
合計 (R2 年度)	4,575 (4,606)	465 (587)	10.2% (12.7%)	4,633 (4,896)	794 (965)	17.1% (19.7%)	4,920 (4,981)	1,175 (1,457)	23.9% (29.3%)

ウ むし歯がある子どもにおける未処置歯保有・処置完了の割合（年齢別・施設種別）

すべての年齢で、未処置のむし歯を有する子の割合が処置完了者を上回っている。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

（図 1 4）施設種別等 むし歯がある子どもの割合（未処置歯有、処置完了者の割合）

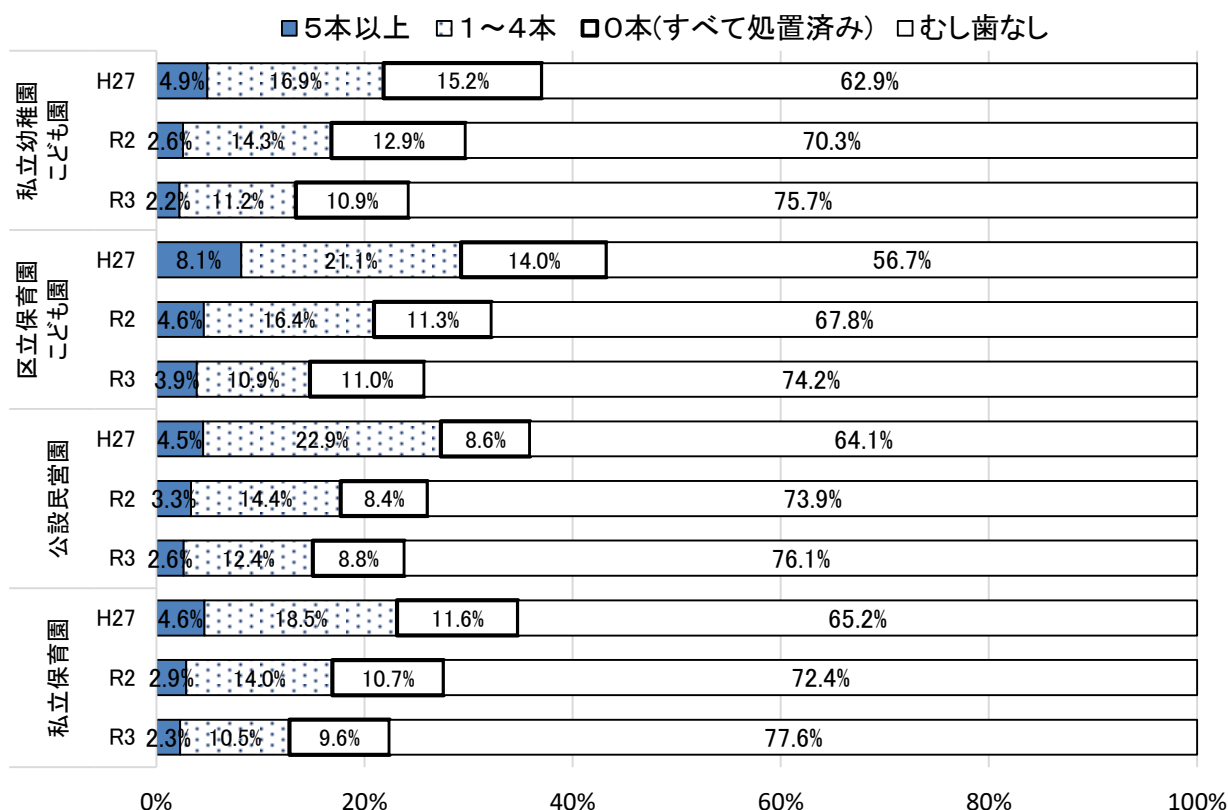


【参考】 2年度(合計)	処置完了率	年少	3.3%	年中	6.2%	年長	11.8%
	未処置歯保有率	年少	9.4%	年中	13.5%	年長	17.5%

エ 施設種別・5本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合

年長児で5本以上未処置のむし歯をもつ割合は、全ての施設種別で減少している。

（図 1 5）施設種別・乳歯に5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R2・R3 年度比)



オ 受診報告書の提出状況【施設からの集計報告による実績値】

歯科健診後に、治療・相談が必要な子ども（※1）に対し、保護者が歯科医療機関を受診した結果が、教育・保育施設より受診報告書として提出されている（※2）。

なお、未通園児等の受診報告は、保護者から区に直接ハガキで報告する方法を採用している（※3）。

令和3年度における受診報告書の提出率の平均は69.1%で、2年度と比べて0.4ポイント減少した。

※1 未処置のむし歯（C）及びむし歯になりそうな歯（CO）がある、または歯肉、歯垢、かみ合わせで治療・相談が必要な子ども。

※2 概ね歯科健診から2か月程度経過した時点での報告率。

※3 未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする（合計には含む）。

（表8）

		年少児（4歳）		年中児（5歳）		年長児（6歳）		合計（人数）		
		発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 （R2年度）	報告数 （R2年度）	報告率 （R2年度）
私立幼稚園 認定こども園		379	236	553	334	718	462	1,650 (1,932)	1,032 (1,186)	62.5% (61.4%)
区立保育園 認定こども園		112	74	128	90	151	111	391 (493)	275 (365)	70.3% (74.0%)
公設民営保育園		52	42	69	53	97	77	218 (253)	172 (207)	78.9% (81.8%)
私立保育園		293	226	303	231	422	329	1,018 (1,117)	786 (868)	77.2% (77.7%)
認証保育所		22	16	6	5	12	10	40 (33)	31 (27)	77.5% (81.8%)
未通 園児 等	未通園児	18	11	8	5	8	7	34 (30)	23 (27)	67.6% (90.0%)
	区外通園児	4	2	4	1	4	1	12 (9)	4 (7)	33.3% (77.8%)
合計 （R2年度）		880 (986)	607 (665)	1,071 (1,290)	719 (907)	1,412 (1,591)	997 (1,115)	3,363 (3,867)	2,323 (2,687)	
報告率 （R2年度）		69.0% (67.4%)		67.1% (70.3%)		70.6% (70.1%)		69.1% (69.5%)		

2 あだちっ子歯科健診の概要

（1）目的

「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい年少児（4歳）～年長児（6歳）を対象に、（公社）東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、幼稚園等が連携・協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防および早期の治療に繋がる取り組みを進めている。

【あだちっ子歯科健診のポイント】

- ① 統一基準（帳票、健診基準等）の歯科健診を実施
- ② 健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
- ③ 歯科健診結果の集計・分析・フィードバック

（２）対象者

通園の有無に関わらず、年少児（４歳）から年長児（６歳）、全ての幼児

※区内の保育施設、認定こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

（３）実施方法および今後の目標

ア 統一基準の歯科健診

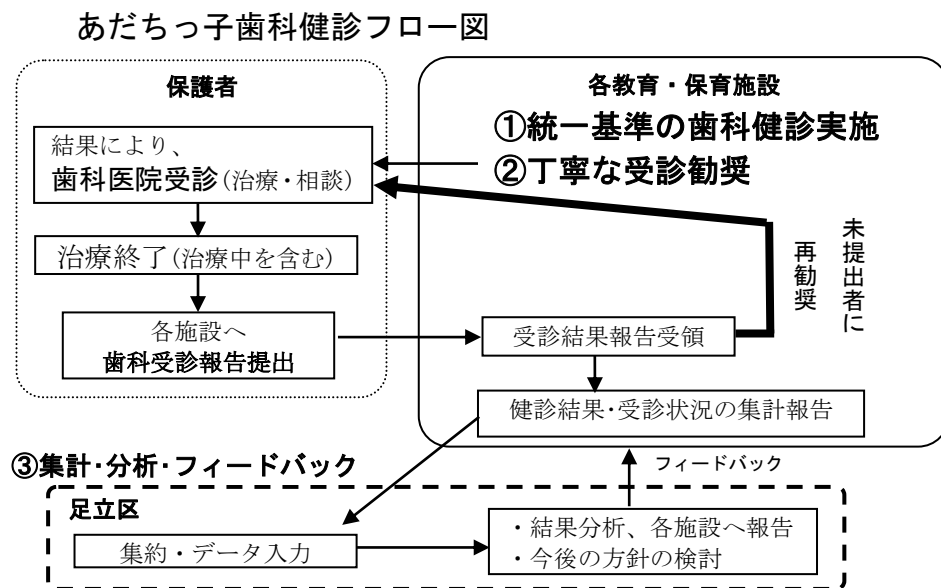
足立区歯科医師会に委託（区立認定こども園のみ嘱託医）し、施設および会員歯科診療所で歯科健診を実施する。足立区歯科医師会の協力のもと、施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、受診率向上を目指している。

イ 受診勧奨

各保育施設・認定こども園・幼稚園の協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をすることで、未治療の子どもの数を減らしていく。

ウ 結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設から歯科健診結果報告を受け、区は個人情報の適正な管理のもと足立区保健衛生システムに登録の上、集計・分析を行う。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるよう、効果的な「歯・口の健康づくりの取り組み」を検討・実施する。



【問合せ先】

●あだちっ子歯科健診の実施に関すること

足立区教育委員会子ども家庭部

子ども政策課子ども施策推進担当 ０３－３８８０－５２６６

●あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること

足立区衛生部データヘルス推進課

多世代健康データ連携担当 ０３－３８８０－５６０１



区オリジナル・奥歯のはみがき
キャラクター「おくばちゃん」